

特定非営利活動法人
さいたまNPOのセンター

2018年度 事業報告書



第1号議案 2018年度(平成30年度) 事業報告

2018年度は、2018年度からの10か年計画は立てず、「ネクストプラン」として論議をした結果、これまでの10か年計画で立てられた5本の柱を踏襲し、新しい事業の中に「ネクストプラン」で論議されたアイデアを試す方針で事業を実施した。

経常収益(収入)額は12,355,278円となった。これは「桜環境センター環境啓発施設運営」が別団体に移管されたことが主な理由である。人件費の削減などを行ったが、約45万円の赤字となった。

- 2018年度に特筆される主な活動としては、
- ①「非営利組織ネットワーク事業」では、ネット21運動のメンバーとして「地域セミナー」を県内2か所で行い、組合とNPOとの出会いの場をつくることもできた。
 - ② 事務局支援事業が本格化し、3つのNPOへの事務局支援をおこなった。
 - ③ 日本NPOセンターや会計基準協議会との協働による「組織基盤強化ワークショップ事業」、「会計強化キャンペーン」の事業を行い、前年度よりも「非営利組織への支援事業」は充実したものになった。
 - ④ 介護者支援事業では専門家を対象にした埼玉県の介護者支援事業を昨年度に引き続き行ったが、2018年度は県民向けに講演会も行い1100人以上の聴衆を集めることができ、介護者支援の必要性が共感を持って受け入れられたといえる。

以下、事業ごとの報告を行う。

1. 非営利組織ネットワーク事業

【目的】
NPOや労働組合、協同組合、大学などとの連携をすすめて、非営利組織の社会的役割や機能を高める。

- 【実施内容】
- ①ネットワークSAITAMA21運動への参画
 - ネット21運動の運営委員、評議員としてNPOへのパソコン贈呈プログラムや少額物品助成の推薦者になった。
 - 地域セミナーを9月に2回(さいたま市・所沢市)実施し、NPOから34人、組合から33人の計67名の参加者があった。
 - シニア人財バンクの情報提供業務を行い、名簿管理を行った。

- ②NPOと大学のネットワーク
- 専修大学の学生インターン1人を6日間受け入れた。
- 専修大学の社会教養特別講座、東洋大学の社会貢献活動入門講座などへ講師を派遣して企画についても協力した。

- 【成果】
- 地域セミナーについては、初めての試みだったが、NPOと労働組合の交流ができ、パソコン贈呈プログラムに応募したNPOが過去最大になった。
 - 専修大学、東洋大学の講師陣については多彩な人たちを推薦でき、大学生にとって新鮮な講義となった。

2. 市民活動支援施設・開発事業

【目的】
市民による公益公共施設の運営を推進する。



9月に行った地域セミナーのチラシ

【実施内容】
「さいたま市市民活動サポートセンター利用者の会」へ参加して、サポセン運営の在り方を提起している。市民運営に関する情報提供を行った。

3. 非営利組織のための研修・相談・支援事業

3-1 講座企画・講師派遣事業

【目的】

市民活動・NPOの講座の開催や、理事、職員を講師として派遣し、市民や非営利組織の職員の知識などの向上をはかる。

【実施内容】

埼玉県内はもとより川崎市、茅ヶ崎市、横浜市、府中市、狛江市、松戸市、沖縄県など合計29回派遣した。昨年に引き続き、専修大学、東洋大学の学生向け講義にも招かれた。

HPでの宣伝に努めた。

【成果】

全体25件／講座29回のうち多かった依頼は、リピーター（11件44%）。ついで、講師と旧知の仲での依頼（6件24%）、他の施設での講座に参加したことをきっかけに依頼したケース（5件20%）が多い。HP経由（2件）や他の施設からの紹介（1件）もあった。アンケート回答からも各講師の講座は好評で、参加者のみならず主催者からも喜びの声がきかれた。

- ①NPO／ボランティア関係…… 8件／ 10講座
- ②広報講座…………… 13件／ 14講座
- ③暮らし・まちづくり…………… 5件／ 5講座

3-2 会計税務セミナー・相談会の実施

【目的】

会計税務についての悩みを解消する。また基礎的な学習を会計担当者に学んでもらい、正確な会計処理をはかる一助にする。

【実施内容】

「NPO法人のための会計強化のための全国キャンペーン」（主催：NPO会計基準協議会）に応募し、草加市立市民活動センターと上尾市市民活動支援センターで、NPO法人を対象に「NPO会計基準」の研修会を行った。



NPO会計セミナーで講義をする会計基準協議会の深谷さん（上尾会場）

また、研修後にNPO法人対象の相談会も実施した。県内の支援施設職員が質問に答えることができるようにと支援者・職員向け研修会も行った。

【成果】

草加会場では10団体12人が参加した。上尾会場では14団体16人が参加した。

支援施設からは8人の職員が参加し、その後のワークショップが好評であった。

相談件数も7件あった。

講師の深谷公認会計士のおかげで多数のテキストが用意でき、今回はテスト形式のシート記入も行うなど充実した内容だった。ただし、広報面では周辺地域のNPO法人251に郵送で案内状を出したり、いきいき埼玉さんの協力も得て最大限の広報をしたにもかかわらず、テーマを「会計基準」としたせいかな年度の同種セミナーより参加者数が少なかった。

3-3 NPO／NGOの組織基盤強化のためのワークショップ

【目的】

NPO／NGOの組織基盤強化のための学習機会の提供を目的とする。

【内容】

日本NPOセンター、Panasonicとの協働でワークショップを半日、行った。

プログラム内容は日本NPOセンターが開発してきた組織基盤強化の考え方や実践例紹介。北関東一円を対象にした広報と集客、会場設営、当日進行、ワークショップのファシリテーターなどを当センターが担った。埼玉県内のNPOは16団体、群馬、茨城、千葉、

東京のNPOを合わせて41団体44人が参加し、主催者側のスタッフをいれると60人となり、全国で行われたWSの中でも盛会なものとなった。

【成果】

財政規模が年間500万円から1億円以上の団体が参加したので、議論がかみ合うか心配だった。しかし、グループ分けやファシリテータの進行が適切だったので、財政、人財、方針の策定などそれぞれのテーブルで話を深めることができ、自団体の改善点の発見につながったとの声が得られた。

3-4 編集・印刷支援事業

【目的】

市民活動団体が必要とするさまざまな広報物（チラシ、ポスター、プログラム等）を、団体支援の一環としてより効果的なものとし、市民活動の広報力を高める。

【内容】

編集・デザインのスキルをもつ理事、スタッフが適宜アドバイスもしながら編集、印刷発行まで担い、チラシ、ポスター、パネル、横断幕など39点を制作した。

【成果】

質の高い制作物を安価に提供でき、広報支援ができた。



3-5 印刷機貸し出し事業

2団体に貸し出しをした。

4. 市民自治・地域開発事業

4-1 東部地域開発事業

【目的】

地域社会で人々が生活するために、環境、介護、福祉、男女共同参画の分野で地域の多様な社会的資源を掘り起こし、市民団体の活動を支援することを目的にした。NPOが関わることできめ細かな活動ができ、住みやすいまちづくりに繋がる。

【内容】

(1) 介護者サロン「ティータイム」開催

越谷介護者の会、越谷介護保険サポーターズクラブと共催し、毎月1回、計12回開催、参加者延べ127名となった。昨年度に引き続き、12月に「お茶会」をし、今まで参加してくれた方たちと近況を共有した。

(2) 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」における活動

- 「2018年度七夕フェスタ」に参加し、実行委員並びに1講座「エイジングケアヨガと訪問看護」を開催。参加者は30名。
- 「ほっと越谷」主催事業1件に協力した。「工藤広伸さん・頑張りすぎない働く人の介護」でオアシス・村松さんや草加、八潮の介護者サロンスタッフでファシリテーターとして協力した。
- 「ほっと越谷」市民公募型男女共同参画事業に応募し、10月27日に講座「これは知りたい！介護と医療と認知症」を開催した。講師は車田勉さん。介護者の集い「オアシス」と協働。参加者は64名。
- 登録団体枠で「越谷市男女共同参画推進委員会」に出席した。

(3) 越谷市市民活動支援センター関係

- 登録団体交流会に参加した。

(4) 仕事起こし懇談会

- NPO法人障害者の職場参加を進める会事務所「世一緒」でランチカフェを毎月1回開催した。(9回開催)
- 生活クラブ生協地域協議会会議に参加した。

(5) 越谷にぎわいの会

毎月第2火曜日に「水辺の市」に出店した。また、実行委員として会議に参加した

【成果】

越谷市内における市民活動（コミュニティ推進協議会、社協・福祉推進員、地域包括主催ネットワーク会議等）や市役所・介護保険運営協議会に参加して情報を収集し、それを介護者サロン等に伝えることができた。

【課題】

越谷市内等で、今後のさいたまNPOセンターの事業を担ってくれる人の発掘が必要である。



越谷市外からも多くが詰めかけた「工藤広伸さん・頑張りすぎない働く人の介護」講座

4-2 子育て・子ども関連事業ー子どもの防犯力アップ出前教室

【目的】

「犯罪機会論」に裏打ちされた「子どもの防犯力アップ出前教室」を実施し、子ども自身が犯罪に会わない知識を身に付ける。

【実施内容】

出前教室は、“見えにくい“入りやすい”場所が犯罪にあいやすいことを子どもたちに教える内容で、インストラクター4人が1チームとなって実施した。またインストラクター養成講座も行い、越谷と浦和で計8人が受講した。

出前教室はさいたま市、越谷市で5か所、計10回実施した。受講した子どもは367人で、保育士・保護者の参加は174人（子ども・大人の総数541人）。

【成果】

親子のコミュニケーションの大切さを訴える事ができ、保護者からは、防犯の知識が理解できたと喜ばれた。幼稚園へのアンケートでも「大変よかった」と評価を頂いている。

また養成講座から2人のサブインストラクターが誕生し、越谷では地域密着型の防犯教育グループができそうである。大道具やフリップ等機材一式を同グループに寄贈した。



サブインストラクター養成講座の様子



子どもたちは積極的にかかわり、防犯意識を身につけていた。

子どもの防犯力アップ出前教室実施状況

団 体 名	参加者数（人）			実施時間	概要
	児童	保護	職員		
萩原第一幼稚園（越谷市）	94	22	5	10:00～12:30	3クラス3回実施
双恵幼稚園（さいたま市浦和区）	60	40	5	10:00～11:30	2クラス2回実施
萩原第二幼稚園（越谷市）	97	45	5	10:00～12:30	3クラス3回実施
ろりぼっぶ幼稚園（さいたま市岩槻区）	56	7	6	13:00～13:45	3クラス1回実施
聖フランソワ幼稚園（さいたま市浦和区）	60	35	4	13:00～13:45	7クラス1回実施

4-3 SAVE JAPANプロジェクト

【目的】

SAVE JAPANとは、47都道府県のNPOと市民、損保ジャパン日本興亜（株）が一緒に、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトである。地域の環境保護団体と協働で行い、希少生物保全を通して、身近な環境を守る市民の自然保護活動の第1歩とする。

【実施内容と成果】

①春の観察会（2017-2018）-くぬぎ山で竹ぼっくりレースと観察会

場所：所沢市くぬぎ山

日時：2018年5月12日（土）

運営実施団体：エコネットくぬぎ山、北中ネイチャークラブ、JAM北関東シチズン労組埼玉支部

参加者数：子ども15人、大人20人

活動：クイズ形式の自然観察会ではサイハイラン、ギンランの絶滅危惧種を発見できた。「コガタスズメバチ」もいたが事故はなかった。竹ぼっくりを使ってドングリをとってくるゲーム行った。三角竹馬もエコネットくぬぎ山さんが苦労して作成してくれたが、試乗は大人気で終了後に欲しいという子供たちが多くいて進呈した。

成果：アンケートでは満足度を5段階で選択してもらったところ、最高の満足を選んだ人は63%。「やや満足」を含めれば90%だった。シチズン労組からは5人が参加して、駐車場の整理や誘導にあたった。くぬぎ山の近くに工場があり、今後の連携に期待がもてた。



竹ボックリで遊ぶ所沢の子どもたち

②秋の観察会—キタミソウ観察会と秋のはらっぱ遊び

場所：さいたま市岩槻区

日時：2018年11月17日（土）

運営実施団体：元荒川をきれいにする会、新和建設（株）

参加者数：子ども35人、大人29人

活動：岩槻区の第六天神社裏手の元荒川河川敷と近くの公園で実施した。天気、温度に助けられ、自然観察会ができた。

絶滅危惧種のキタミソウがスタッフの予想通り開花していて大人からまず驚きの声があがった。また奇跡的にトノサマバッタを捕まえた子どももいて竹ぼっくり遊びや草矢遊びなどは子どもたちにとって経験したことのない遊びだったが、飽きることなく遊んでいた。

成果：新和建設の社長と社員が5名参加し、「多自然型護岸」の説明やドングリコマづくりなどに協力していただき、フィールドワークを有意義に展開できた。最高値の満足度を選んだ参加者は68%であった。



真剣に「草矢」で的を狙う岩槻の子ども

4-4 防災・被災者支援事業

福島県南相馬市で「放射線量マップづくり」を地元住民と行っている「NPO法人チェルノブイリ救援・中部」に10万円を寄付した。

財源は市民とドイツから寄付された東日本大震災への寄付金である。

4-5 介護・福祉・助け合い関連事業

【目的】

地域包括支援センターの職員が家族介護者の社会的孤立を防ぐことのために必要な考え方や実践事例を学ぶことによって、介護者の包括的ケアができる体制づくりに貢献する。

また県民が介護者への理解を持つような啓発活動を実施する。

【実施内容】

地域包括支援センター等の職員を対象にしたセミナーは2会場で行われ、受講者は合計271人となった。募集人員は300人であったから、目標数の90.3%を達成した。

カリキュラムの特徴を「受講者参加型」及び「出口のある実践型」とし、（一社）日本ケアラー連盟の助言を取り入れてカリキュラムを構築した。また、専門職のみならず、県民を対象にした「介護者支援の啓発のための講演会」を「特別講座」として実施した。「地域包括ケア」の名付け親である鎌田實氏を招き、専門職235人、一般応募者957人の参加を得て合計1192人の講演会となった（当選者通知者は1305人。インフルエンザ等でキャンセル者がでた）。



介護者支援セミナー：ロールプレイ
(2018.10.15 彩の国すこやかプラザ)



介護者支援セミナー：チラシづくり
(2018.10.22 熊谷市勤労会館)

【成果】

①市町村単独では企画しにくい新しいテーマで埼玉県内の専門職に介護者支援の研修を実施できた。

②介護者を「介護の社会的資源」として見がちな専門職に対して、1人の人間としてとらえるために「アセスメントシート」の活用を示し、テキスト以外にも別刷りで2種類の「アセスメントシート」を提供した。

③介護者へのアセスメントのロールプレイを行い、受講者が介護者役を演じることにより新しい気づきを得た受講者が多かった。

④最後にキャッチコピーを作成するワークショップを行って、「受講者参加型研修」、「実践につながる出口ある研修」を達成できた。

⑤特別講座は人気講師のため、「往復はがき」での応募で全席指定制としたので、当日は約1200人がスムーズに入場でき、事故もなく実施できた。アンケート調査によれば「大変参考になった」と答えた人が87%もいて満足度の高い講演会を実施できた。



カリキュラム検討委員会
(2019.2.22 ケアラー連盟事務所)



鎌田實氏講演会 (2019.2.1 埼玉会館)

(2) 介護者サロンネットワーク事業

【目的】

県内の介護者支援団体、35団体の継続支援と新しい知識の提供、交流および「介護者サロン・カフェ」全体の認知度をあげる。

【内容】

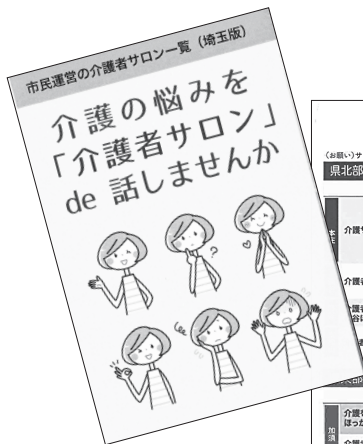
- ①「市民運営の介護者サロン一覧（埼玉版）」を4000部作成し、県内の35の団体に発送し、広報活動に利用してもらった。また、鎌田講演会でも入場者に配布した。
- ②さいたま市浦和区の夢工房「MARUYAMA」と9月からは「ぱる・てらす」で「介護者サロン夢うらわ」を開催。20回実施した。

【成果】

- ①「介護者サロン一覧」は見える形で「介護者サロン・カフェ」の存在を多くの方に知ってもらえた。問い合わせも増えた。
- ②「パルシステム埼玉協同組合」の協力がえられて会場費が無料となった。広報誌にも掲載してもらえた。



介護者サロン夢うらわチラシ。



「介護者サロン一覧」
 広げるとA3判と大きな一覧だが、
 8つ折にしてポケットに入る小
 さなサイズにしている。

市民が運営する 「埼玉県介護者サロンのマップ」				2019年版
(※利用の可否や時間等については各事業の案内を必ずご確認ください。登録は随時受け付けています。)				
東北地域…本庄市・深谷市・熊谷市・東松山市				
名称	日時	会場	連絡先	
介護サロン本庄	①毎月第1土曜日 13:30-15:30 ②毎月第3木曜日 13:30-15:30 ③毎月第5土曜日 13:30-15:30	①本庄ふたばまな 本庄市立公民館 ②本庄市立公民館のセンター にはばりプラザ ③本庄市立センター・老人保健 センター2階	介護サロナー・フタバプラザ 0300-0001-0632 (熊谷)	
介護者のつどい	①毎月第3土曜日 13:00-15:00 ②毎月第5土曜日 13:00-15:00	①いひのいえ 介護者サロン ②フタバまな、プラザあま	介護サロナー・フタバプラ 048-571-0757 (熊谷)	
介護者サロン はなはなたん	毎月第1土曜日 10:00-15:00	熊谷市立センター(熊谷市役所内)	NPO法人 0300-2933-301 (神楽坂)	
介護サロン ほふ	毎月第1土曜日 13:30-15:30	東松山市市民活動センター ※参加費 300円 ※車費補助あり	東松山市介護支援センター 048-939-35-0343	
中部地域…加須市・久喜市・日蓮市・松伏町・吉川市・越谷市・東加賀町・蓮田市・八潮市				
名称	日時	会場	連絡先	
介護者あそび会 「あそびの会」	原則毎月第1土曜日 13:30-15:30 ※毎月1回行事は変更あり	北沢公民館・宇津野センターの 公民館 ※参加費 100円(当日は変更あり)	同地区センター 0406-611-9-8366	
介護者サロン 「おどろきの日」	毎月第2、第4土曜日 13:30-15:30	市立プラザサカサ ※参加費 100円	サカサケアセンター 0480-62-0608	
介護者サロン 西久保	毎月第3土曜日 13:30-15:00	いづみセンターふすま ※参加費 100円	いづみセンターふすま 048-923-0224 (熊谷)	
くむしほ 西久保	毎月第4土曜日 13:30-15:00	健康福祉センターくむしほ ※参加費 100円	あひる会 0400-8022-4348 (熊谷)	
介護者サロン みずほ	毎月第3土曜日 13:30-15:00	宮内市社会福祉協議会 2階会議室 ※参加費 100円	介護者サロン・みずほ 048-322-2025 (熊谷)	
介護者サロン ぽん	毎月第4内曜日 13:00-15:00	熊谷市立健康福祉センター ※参加費 100円	介護者あそびの会・ぽん部 048-735-7668	
たばぽん	毎月第4内曜日 11:00-13:00	熊谷市立いづみセンターがきく 1階3号室 ※参加費 100円	たばぽん 048-922-4783	
介護者の会 熊旗	毎月第2内曜日 13:30-15:30 ※参加費 100円	熊谷市中央市民会館 会議室	熊谷市社会福祉協議会 熊旗部 048-956-3431	
介護者サロン グライムズ	毎月第2内曜日 13:30-15:30 ※参加費 100円	熊谷市中央市民会館東洋センター ※参加費 100円	熊谷介護者の会 048-962-8452	
介護者の会 「おどろき」	①毎月第1土曜日 13:30-15:30 ②毎月第3土曜日 10:00-12:00 ※参加費 100円	①加須市立公民館 市民会館 ②加須市立公民館 市民会館 ※参加費 100円(当日は変更あり)	介護者の会「おどろき」 048-624-6067	
ほふとスペース「ほふたん」	毎月第3土曜日 13:00-15:00	八ヶ丘ビル2階(熊谷市プラザ3F) ※参加費 100円	介護者あそびの会 ぽん部 048-925-7249	
ほふとスペース「ほふたん」	毎月第4木曜日 13:00-15:00	東松山市立健康センター 第2会議室 ※参加費 100円	介護者あそびの会 ぽん部 048-925-7498	
関東中部地域…上尾市・さいたま市(大宮区・岩槻区・南区)・川口市・黒川市				
名称	日時	会場	連絡先	
ひとびと	毎月第5金曜日 13:30-15:30	上尾市市民活動センター・会議室 ※参加費 100円	介護者あそびの会(岩槻) 0406-775-6495 (岩槻)	
グループ・アズ たんぽぽ	①毎月第1回(毎月第5金曜日) 10:00-13:00 ②毎月第2回(毎月第4金曜日) 10:00-13:00	(市)つとみ大ホール (区)大宮市民センター (区)大宮市民センター ※参加費 100円	介護者あそびの会 0406-811-1666	
介護者サロン ひなま	毎月第1土曜日 13:30-15:30	坂根地区公民館 ※参加費 100円	介護者サロン・ひなま 0300-910-6206(熊谷)	
介護者サロン グレース・むら	毎月第2木曜日 13:30-15:00	さいたま市南区役所1階 多目的 会議室 ※参加費 100円	介護者サロナー・グレース・むら 070-3186-8447 (熊谷)	
介護者サロン「5らむ」	毎月第1・3金曜日 13:30-15:00	生活福祉館(ハリスコム五反田) ※参加費 100円	かいたいのサロン・5らむ 048-811-1666	
介護者サロン・トラット 新大塚	毎月第2金曜日 10:30-13:00	ゆめひろセンター ※参加費 100円	介護者サロナー・トラット 0300-7225-0187 (熊谷)	
介護者サロン カモル	毎月第3土曜日 13:30-15:00 ※参加費 100円	川口市市民会館(市民会館) (市)市民センター ※参加費 100円	介護者サロン・カモル 048-204-8057	
からいん介護者 「つたひい・やべりサロン」	毎月第1土曜日 または 第1土曜日 13:30-15:30 ※参加費 100円	熊谷市立健康福祉センター ※参加費 100円	熊谷市社会福祉協議会 かわいん部 048-925-2930	
熊谷市地域…坂戸市・川越市・富士見市・志木市・朝霞市・所沢市				
名称	日時	会場	連絡先	
介護者サロン きよたん	①毎月第1土曜日 13:30-15:00 ②毎月第3土曜日 13:30-15:00	①坂戸市立センター内 ②エッセイ・川越市のユルカサ ※参加費 100円	介護者あそびの会(坂戸) 049-281-0102 (坂戸)	
介護者サロンまじび	毎月第1土曜日 13:00-15:00	鶴岡公民館・いずみ会館 ※参加費 100円	介護者サロンまじび 070-6483-8853 (三木)	
介護者サロン「ほふ」	毎月第3金曜日 13:00-15:00	ビザン・みづみ ※参加費 100円	介護者サロン・ほふ 0300-4249-4145 (熊谷)	
グループ・アズ「つとみ」部	毎月第3金曜日 10:00-12:00	志木市民会館 ※参加費 100円	志木市社会福祉協議会 048-3881-7271	
あさひ介護者サロン 「つとみ」部	毎月第2土曜日 10:00-12:00	熊谷市社会福祉センター ※参加費 100円	あさひ介護者サロン「つとみ」部 048-925-7249	
しゃんぐ(つとみ) 「つとみ」部	毎月第4金曜日 10:30-12:00	①坂戸市立健康福祉センター4-1 ②坂戸市立健康福祉センター3 ※参加費 100円	介護者サロン・しゃんぐ 0300-9106-3998	

5 市民調査・発信提言事業

5-1 情報発信事業

[内容と成果]

①情報誌発行

ニュース「さんぽ」を4回発行。1000部印刷し、約770部発送。

②メーリングリスト運営

メーリングリストを運営し、加入者は372人になった。

③ サイト運営

HPの更新を行った。HPを見ての講師依頼などもあった。

④冊子の発行

「サポセン協働管理運営検証プロジェクト」の成果として同プロジェクトチームの一員として冊子を発行した。

5-2 審議会・審査会への委員参加

審議会委員を引き受けて、積極的に発言している。また、ゆうちょ財団、中央ろうきん、全労済、蔵市の助成事業の審査委員、戸田市

市民活動サポート補助金事業のアドバイザーを務めている。

審議会等委員は以下の通りである。

春日部市市民活動センター運営協議会委員 三浦匡史 理事

桶川市協働推進審議会 三浦匡史 理事

さいたま市社会教育委員 桑原 静 専任委員

関東管区行政評価局 意見交換会委員 村田恵子 専務理事

6 管理運営体制

[目的]

理事会、事業運営会議、事務局がそれぞれの役割を果たしてコンパクトに運営し、活動の継続性や発展性を確保する。

【実施内容】

事務局は常勤職員 1 人、非常勤職員1人、

ボランティア1人で運営した。運営会議を8回開催し、理事会を2回開催した。

【成果】

会員や理事、元職員などの協力により事業ごとに優秀な人材を確保でき、事業が円滑に達成できた。

2018年度決算報告

2018年度活動計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

(単位：円)

項 目	金 額		摘 要
1,受取会費		1, 230, 000	
正会員	870, 000		65名(団体32・個人31)
賛助会員	360, 000		109名(団体33・個人76)
2,受取寄付金		1, 178, 939	
受取寄付金	1, 178, 939		のべ35名(団体4・個人31)
3,受取助成金		1, 976, 338	
受取助成金	1, 976, 338		コープみらい、日本NPOセンター、埼玉県共同募金会、NPO法人会計基準協議会
受取補助金	0		
4,事業収益		7, 848, 491	
事業収益	7, 848, 491		内訳は「事業別損益の状況」
5,その他収益		121, 510	
受取利息	1, 059		預金利息
雑収益	120, 451		総会セミナー参加費等
経常収益 計 (A)		12, 355, 278	

II,【経常費用】

1,事業費			
(1)人件費			
給料 手当	2, 521, 454		
賞与	27, 600		
通勤費	109, 793		
法定福利費	199, 702		
福利厚生費	5, 962		
臨時雇賃金	394, 034		
人件費計		3, 258, 545	
(2)その他経費			
業務委託費	2, 518, 956		
諸謝金	1, 779, 760		
印刷製本費	71, 510		
会議費・会場費	40, 430		
旅費交通費	45, 231		
通信運搬費	381, 757		
消耗品費	102, 465		
新聞図書費	200		
賃借料	2, 720		
保険料	1, 000		
租税公課	292, 482		消費税、印紙税等
支払寄付金	133, 000		
支払手数料	13, 422		
雑費	31, 930		
その他経費 計		5, 414, 863	
事業費 計		8, 673, 408	

2,管理費

項 目	金 額		摘 要
(1)人件費			
給料 手当	1, 132, 827		事務局管理部門人件費
賞与	12, 400		
通勤費	49, 328		
法定福利費	89, 721		
福利厚生費	2, 678		
臨時雇賃金	0		
人件費 計		1, 286, 954	
(2)その他経費			
業務委託費	52, 400		
諸謝金	20, 000		
印刷製本費	77, 083		紙代、コピー代
会議費・会場費	14, 422		理事会等会議費・交通費
旅費交通費	305, 439		交通費
通信運搬費	164, 612		電話代、インターネット、発送費
消耗品費	104, 645		事務用品等
新聞図書費	300		
水道光熱費	106, 208		水道代、電気代
賃借料	9, 004		
リース料	710, 208		
地代 家賃	1, 080, 000		事務所家賃等
保険料	0		
諸会費	135, 000		
租税公課	52, 372		消費税、印紙税、県・市民税等
支払寄付金	1, 000		
支払手数料	9, 411		
雑費	3, 497		
その他経費 計		2, 845, 601	
管理費 計		4, 132, 555	
経常費用 計 (B)		12, 805, 963	
当期経常増減額(A)-(B)=(C)		△ 450, 685	

III,【経常外収益】

過年度損益修正益	0		
経常外収益 計		0	

IV,【経常外費用】

過年度損益修正損	0		
経常外費用 計		0	

当期正味財産増減額		△ 450, 685	
前期繰越正味財産額		11, 057, 333	
次期繰越正味財産額		10, 606, 648	

貸借対照表

認定NPO法人さいたまNPOセンター
2019年3月31日現在
(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1、流動資産	6,799,640	1、流動負債	1,192,992
現 金	112,269	未払金	867,369
普通預金	4,837,630	前受金	113,000
郵便貯金	5,830	預り金	26,623
郵便振替	10,000	未払法人税等	70,000
未収金	1,741,391	未払消費税	116,000
前払金	92,520		
		2、固定負債	0
		負債の部合計	1,192,992
2、固定資産	5,000,000	正 味 財 産 の 部	
定期預金	5,000,000	【正味財産】	
		前期繰越正味財産	11,057,333
		当期正味財産増加額	△ 450,685
		正味財産の部合計	10,606,648
資産の部合計	11,799,640	負債・正味財産の部合計	11,799,640

財産目録

認定NPO法人さいたまNPOセンター
2019年3月31日現在
(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1、流動資産		1、流動負債	
【現金・預金】	4,965,729	【未払金】	867,369
現 金	112,269	人件費	334,947
普通預金	4,837,630	その他経費	532,422
(武蔵野銀行浦和支店)	91,628	【前受金】	113,000
(埼玉りそな銀行浦和東口支店)	4,108,909	2019年度会費前受分	113,000
(埼玉りそな銀行浦和東口支店)	0	【預り金】	26,623
(中央労働金庫さいたま支店)	637,093	源泉所得税	15,788
郵便貯金	5,830	社会保険料	10,835
郵便振替	10,000	【未払法人税】	70,000
【未収金】	1,741,391	未払法人税	70,000
業務委託収入	1,541,458	【未払消費税】	116,000
自主事業収入	199,933	未払消費税	116,000
【前払金】	92,520		
会場費	2,520	2、固定負債	0
家賃等	90,000	負債の部合計	1,192,992
		正 味 財 産 の 部	
2、固定資産	5,000,000	前期繰越正味財産	11,057,333
定期預金	5,000,000	当期正味財産増加額	△ 450,685
		正味財産の部合計	10,606,648
資産の部合計	11,799,640	負債・正味財産の部合計	11,799,640

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最新改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況 ※別表

3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

内 容	金 額	算定方法
①介護者サロンの運営 2時間×12回開催 8名 述べ118時間(越谷) 2時間×20回開催 5名 述べ74時間(浦和)	105,964円 66,452円	単価は埼玉県 lowest賃金(898円) によつて算定しています。
②ニュースの発行作業 4～5時間×4回発行 4名 述べ54.5時間	48,941円	
③事務局運営補助 1名×893時間(199日)	801,914円	
合 計	1,023,271円	

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は10,606,648円ですが、そのうち250,635円は東日本大震災関連事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は10,356,013円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
東日本大震災災寄付金	350,635円	0円	100,000円	250,635円	2018年12月13日「特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部」へ寄付(10万円)
合 計	350,635円	0円	100,000円	250,635円	

5. その他

事業費と管理費に共通する人件費は職員の従事割合に基づき按分しています。

消費税（租税公課）は各事業の課税売上高の割合に基づき按分しています。

事業別損益の状況

2019年3月31日現在

(単位: 円)

	① 非営利組織ネットワーク事業	② 市民活動支援・施設運営開発	③ 非営利組織研修・相談・支援	④ 市民自治・地域開発事業	⑤ 市民調査・発信・提言	事業費計	管理部門	全事業所計
I. 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	1,230,000	1,230,000
2. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	1,178,939	1,178,939
3. 受取補助金	0	0	100,000	1,876,338	0	1,976,338	0	1,976,338
4. 事業収益	580,494	0	3,823,901	3,199,258	244,838	7,848,491	0	7,848,491
5. その他収益	0	0	0	0	0	0	121,510	121,510
経常収益計(A)	580,494	0	3,923,901	5,075,596	244,838	9,824,829	2,530,449	12,355,278
II. 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	147,268	65,777	1,113,459	993,234	201,716	2,521,454	1,132,827	3,654,281
賞与	1,612	720	12,188	10,872	2,208	27,600	12,400	40,000
臨時雇賃金	0	0	4,000	390,034	0	394,034	0	394,034
通勤費	6,413	2,864	48,484	43,249	8,783	109,793	49,328	159,121
法定福利費	11,664	5,210	88,187	78,665	15,976	199,702	89,721	289,423
福利厚生費	348	156	2,633	2,348	477	5,962	2,678	8,640
人件費計	167,304	74,726	1,268,951	1,518,402	229,161	3,258,545	1,286,954	4,545,499
(2) その他経費								
業務委託費	43,200	0	840,840	1,483,716	151,200	2,518,956	52,400	2,571,356
諸謝金	59,140	0	396,640	1,308,920	15,060	1,779,760	20,000	1,799,760
印刷製本費	270	180	70,200	860	0	71,510	77,083	148,593
会議費・会場費	2,170	0	5,620	32,640	0	40,430	14,422	54,852
旅費交通費	952	0	11,392	28,687	4,200	45,231	305,439	350,670
通信運搬費	2,884	0	22,468	50,445	305,960	381,757	164,612	546,369
消耗品費	0	0	4,266	50,640	47,559	102,465	104,645	207,110
新聞図書費	0	0	200	0	0	200	300	500
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	106,208	106,208
賃借料	700	0	520	1,500	0	2,720	9,004	11,724
リース料	0	0	0	0	0	0	710,208	710,208
地代家賃	0	0	0	0	0	0	1,080,000	1,080,000
保険料	0	0	0	1,000	0	1,000	0	1,000
諸会費	0	0	0	0	0	0	135,000	135,000
租税公課	21,485	0	141,527	120,408	9,062	292,482	52,372	344,854
支払寄付金	25,000	8,000	0	100,000	0	133,000	1,000	134,000
支払手数料	864	0	4,536	7,899	123	13,422	9,411	22,833
雑費	0	0	2,202	28,895	833	31,930	3,497	35,427
その他経費計	156,665	8,180	1,500,411	3,215,610	533,997	5,414,863	2,845,601	8,260,464
事業費計(B)	323,969	82,906	2,769,363	4,734,013	763,158	8,673,408	4,132,555	12,805,963
差引事業損益(A)-(B)	256,525	▲ 82,906	1,154,538	341,583	▲ 518,320	1,151,421	▲ 1,602,106	▲ 450,685
経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用	0	0	0	0	0	0		0
当期正味財産増減額	256,525	▲ 82,906	1,154,538	341,583	▲ 518,320	1,151,421	▲ 1,602,106	▲ 450,685